

第一圖 見付電話中繼所正面

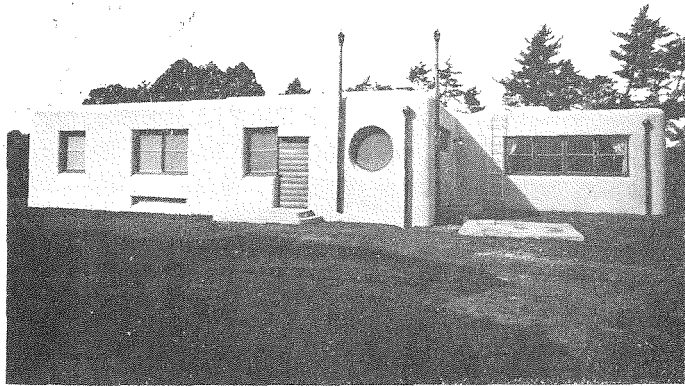
モダンタイプの鐵
見付電話
遞信省營繕

電話ケーブル工事として世界的のものに稱せらるゝ東京神戸間の長距離工事は、土木、建築、電氣の三種の連続工事にして昭和三年末既に主要工事を終り、現在は此の地下電話ケーブルに依つて通話しつゝあるが、此の線中に十ヶ所の中繼所を設けられ本號に示すものは最近竣工の一例である。工事の概要は次の如し。

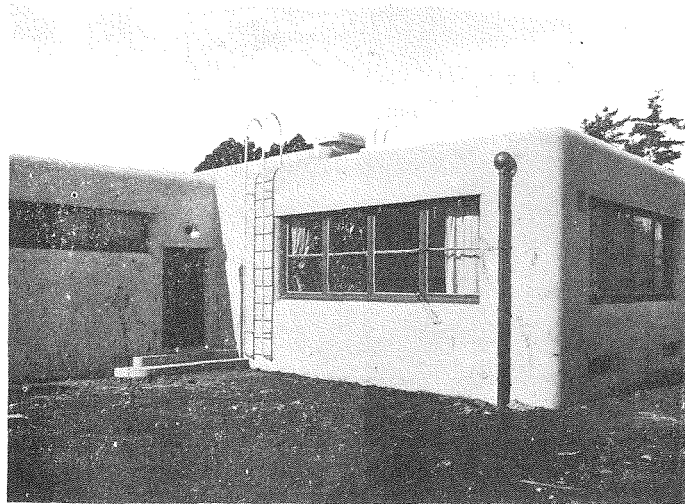
見付電話中繼所

- 1、所 在、静岡縣盤田郡見付町向荒子
- 2、設 計、遞信省營繕課
- 3、施 工、石川儀一
- 4、敷 地、809 坪

第二圖 背面



第三圖 背面の一部



筋 混 凝 土 小 建 築
中 繼 所
課 の 設 計

- 5、建物坪數、本館、378.00 平方米
一號官舎 59.94 平方米
二號官舎 59.94 平方米
物置 64.80 平方米
- 6、構造、本館、鐵筋コンクリート造官舎、物置、木造
- 7、本館の主要なる室、機械室、電力室、電池室、修繕室、技術室、小使室、宿直室、其他
- 8、工費、55,750圓
- 9、工期、起工昭和4年3月12日
竣工昭和4年11月5日

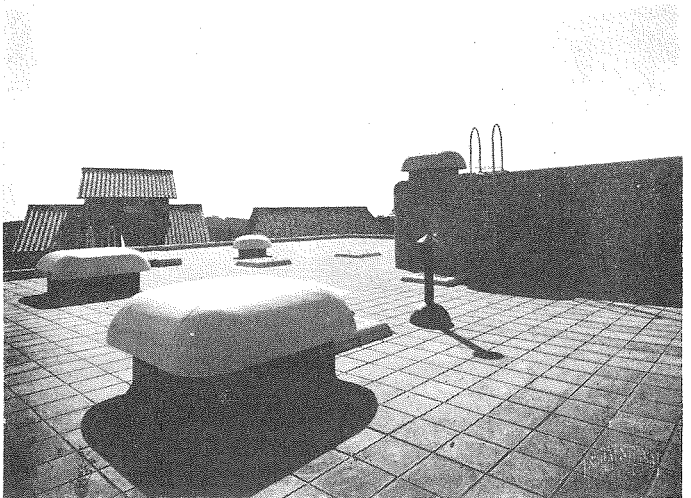
第四圖 見付電話中繼所内番廊下

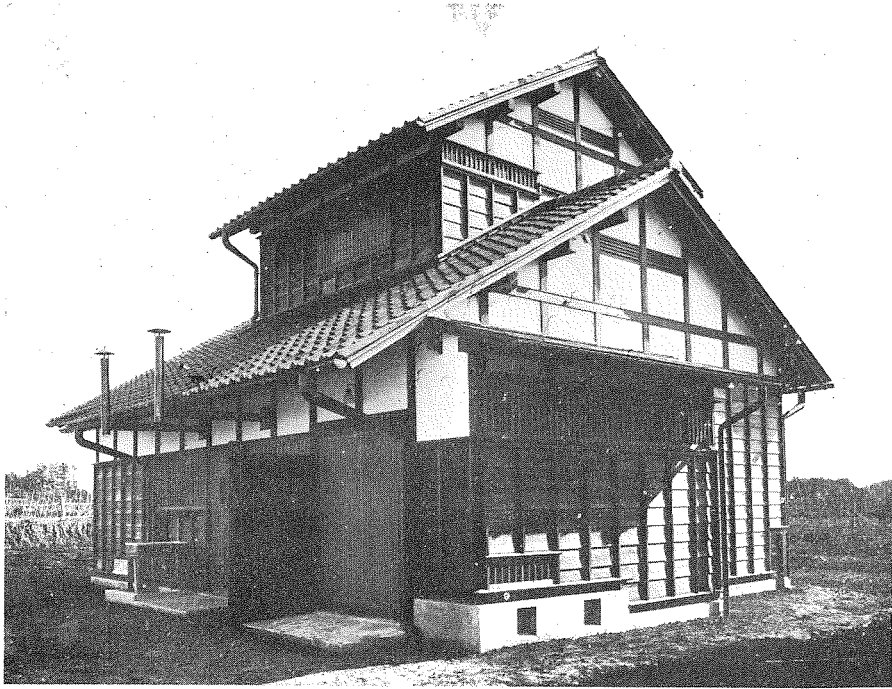


第五圖 同室内手洗場

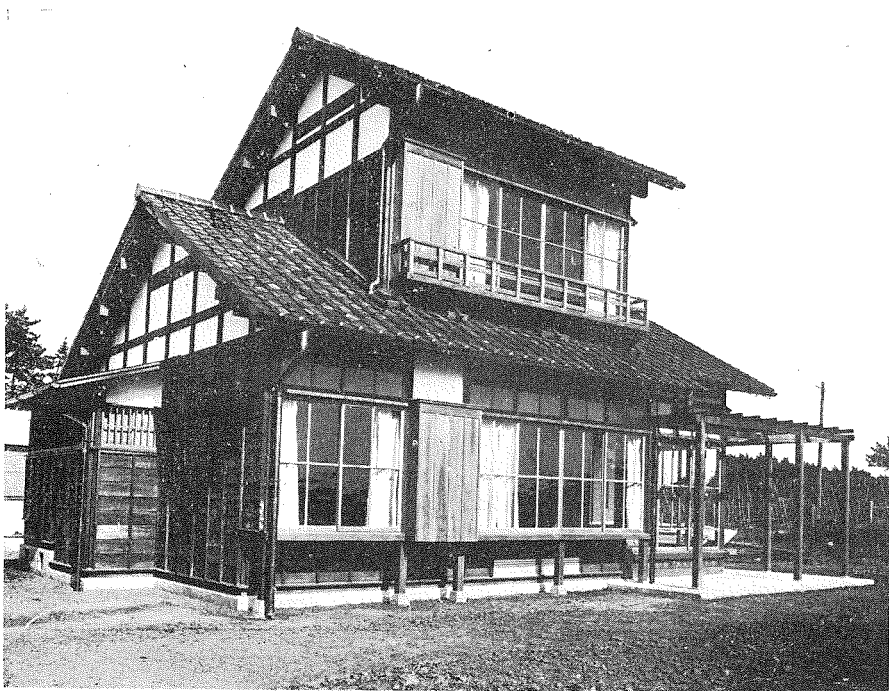


六圖 同屋上より官舎の屋根を望む





第7圖 見付電話中繼所の一號官舎前景



第8圖 同上、背景